

成田っ子 通信

～チーム成田のみなさんへ～



先生方の活躍ぶりや授業の様子、先生方へのメッセージを載せています。

R4.1.19 No.21

文責 新井麻起

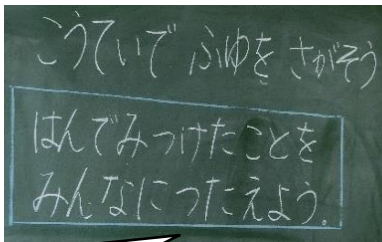
本校では学校研究課題を「個別最適な学び」と「共同的な学び」の一体化を目指した授業の創造～「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業実践～とし、「一人2回」を合い言葉に校内の研究授業を行っています。今回は 竹井 香澄 教諭の 生活の授業です。

教科：生活 単元名「こういでふゆをさがそう」 1年生2組 竹井 香澄 教諭

【本時の目標】

【見つけた冬の発表】

本時ではこれまでに見てきた校庭の様子と比較し、自然の様子が冬になって変化していることに気付く授業である。



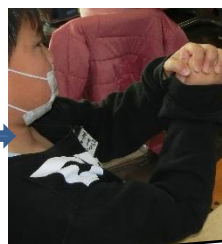
校庭で見つけた“ふゆ”を予めタブレットに撮り、電子黒板に映し、発表する。

c：うさぎさんがみんな一カ所に集まっていました。T：どうして集まっていたのかな？C：集まると暖かいから T：夏はどうだった？

c：お友達のメガネがくもってしまいました T：どうしてくもるんだろう？C：息が寒さで水滴になるから

【見つけた冬の発表】

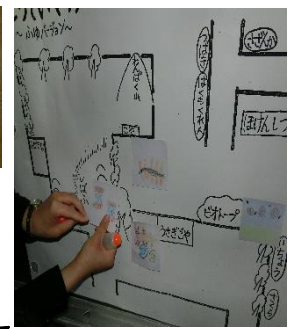
【つぼみの動作化】



C：つばきのつぼみを見つけました。とてもかたかったです

T：このあとつぼみは、どうなるのでしょうか C：ぎゅっとかたくなっていたのがだんだんふくらんで花が開きます

【私たちの学校の「冬みつけた」マップづくり】



それぞれの児童が校内で見つけた冬をカードに書き、その場所に貼り、マップづくりをする。例：凍った水道：枯れ木

【低学年で大切な学習規律の徹底】



お友達との発表を聴くときは手は後ろ

名前を呼ばれたら返事



発表も積極的に、挙げた腕はまっすぐ伸ばしている「同じです」「他にもあります！」



発表の声は後ろの人が聞こえるように何度でも、授業中は丁寧語で

◎子どもの発表だけでなく、必ず他の季節と対比させるための発問をしていた
□次への挑戦として、タブレットで取った写真に冬らしい一言をメタモジで書き入れ、発表させると文字も目から入り、より伝わる発表となるでしょう。

